

平成 16 年 12 月 17 日

報道関係各位

株式会社フィスコ

## 「フィスコ 新興市場ガイドブック マザーズ編」を発売

株式会社フィスコ（本社：東京都千代田区、代表取締役：三木 茂）は東証マザーズに上場する全銘柄の業績予想を独自に算出。5年先までのフリーキャッシュフロー予測に基づいた理論株価や投資スタンスも明示した銘柄レポートを作成。情報の少ないマザーズ銘柄の『ガイドブック』を12月20日に発売します。価格は21,000円（税込み）。サンプルは、フィスコのホームページ（URL：<http://www.fisco.co.jp/sp/sgm/>）でご覧いただけます。

株式会社フィスコは、金融機関を中心に国内外約300社以上に金融・マーケット情報を配信しています。特に新興市場に対する個別銘柄の情報提供では、投資家から幹事証券、発行会社も注目する「新規上場株 初値予想」を中心に市場関係者から高い評価を頂戴しております。この新規上場時の銘柄調査で培った新興市場銘柄への分析力を活用し、今まで情報の少なかった東証マザーズに上場する121銘柄を1社ずつ全て、フィスコが独自に業績予想を算出。更に5年先までのフリーキャッシュフロー予測に基づいた理論株価を明らかにし、現在の「投資スタンス」や「上値メド」「下値メド」を明記したレポートを作成しました。このレポートをまとめて1枚のCD-ROMに収録し、フィスコの会員向け情報提供サービス『クラブフィスコ』を通じて12月20日より販売します。また、業績の修正などがあった場合に、その将来的な影響と各種予測の変更をメールで配信する「プレミアム・クラス」を別価格で設定し、きめ細かな情報サービスを提供します。

今後は対象市場をヘラクレス、JASDAQへと拡大していく予定です。

---

#### 【商品概要】

- ・投資スタンス
- ・上値メド 下値メド
- ・株主優待情報
- ・銘柄紹介コメント
- ・直近決算期セグメント情報
- ・業績&比較コメント
- ・業績推移（2期独自予想付き・数値データ）
- ・価格試算（数値データ）
- ・FISCO算出業種平均値と価格試算（数値データ）
- ・証券会社レーティング
- ・株価チャート
- ・理論株価（楽観・普通・悲観の3シナリオに基づく5年先決算の売上高と営業利益予想値）
- ・総合判断
- ・（プレミアム・クラスのみ）業績修正 見直し変更フォローメール

#### 【販売価格】

「スタンダード・クラス」

21,000円（消費税 送料込み）

「プレミアム・クラス」

31,500円（消費税 送料込み）

#### 【販売方法】

CD-ROMを郵送。フィスコの会員制情報提供サイト「クラブフィスコ」を通じてのクレジットカード決済による販売。

※クラブフィスコのご利用には会員登録（無料）が必要となります。

#### 【関連資料】

この商品のサンプルはフィスコホームページにてご覧いただけます。

URL : <http://www.fisco.co.jp/sp/sgm/>

以上

---

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社フィスコ セールス&マーケティング担当執行役員 岩間明德

TEL : 03-5212-8770   mailto : [webmaster@fisco.co.jp](mailto:webmaster@fisco.co.jp)

株式会社フィスコ                   <http://www.fisco.co.jp>

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-28 九段ファーストプレイス 7 階

株式会社フィスコは、国内では数少ない独立系の金融市場調査機関として、専門性が高くバイアスの無い独自のリサーチ・サービスを提供しています。日本株、為替、債券の3市場に関する調査レポートやコメントは、証券会社、銀行、機関投資家などのプロフェッショナルに広く利用されています。また、インターネットのポータルサイトやオンライン証券会社への情報提供のほか、投資アドバイザー業務や資産運用・管理に関する各種コンサルティングなどを通じて個人投資家のための良質な金融サービスの提供に努めています。

---



# フィスコ 新興市場 ガイドブック

2005年新春号

**マザーズ編**

**フィスコだからできた「全マザーズ銘柄の完全カバー」**

**テクニカル分析とファンダメンタルズ分析を  
融合した独自の分析と予想**

- アナリストのフォローが少ない  
東証マザーズ市場上場銘柄を全社掲載
- フィスコ独自の業績予想(2期分)と理論株価
- 類似企業及び業種(フィスコ分類)と徹底比較

# ダイセキ環境ソリューション

<1712> 建設業 売買単位1株

投資スタンス

Buy

上値メド

59万円

下値メド

35万円

## 株主優待

なし

## 紹介コメント

汚染土壌の調査・処理事業、リサイクル事業及び環境分析事業等が主要業務。主要業務である汚染土壌の調査・処理事業では、全工程を自社で対応できる土壌汚染対策のトータルソリューションを手掛けていることに特徴。このため、情報管理・迅速性・価格競争力で他社と差別化が可能。汚染土壌の処理方法は、主に掘削除去。掘削除去した土壌は同社リサイクルセンターで加工され、セメント原料として再利用される。掘削除去はコストがかかる嫌いがあるものの、リサイクル原料に加工することで処理費用の低減を図っている。

## セグメント情報(04.2期実績)

事業部門別	金額	構成比
土壌汚染調査・処理	1,214 百万円	78.8 %
リサイクル	153 百万円	9.9 %
環境分析	116 百万円	7.5 %
その他	58 百万円	3.8 %
合計	1,543 百万円	100.0 %

## 業績&比較コメント

03.2期末にプラント部門を閉鎖したことで04.2期売上高は減少したものの、2003年2月に土壌汚染対策法が施行されたことで土壌調査・土壌処理ニーズが高まっている状況。また、ISO14001認証取得企業の増加によるリサイクル部門も堅調に推移した。04.8中間期は前期比較がなく、どの程度の進捗率が判定できない。ただ、05.2通期業績予想に対する達成率は高いといい難いだろう。05.2通期及び06.2通期業績は03.2期末におけるプラント部門閉鎖で予想し難い点は覚えておきたい。類似企業と比較した今期予想PERは、既にトップクラスの評価を得ている状況。

## 業績推移(百万円・%)

決算期	売上高	伸び率	経常利益	伸び率	純利益	伸び率
2003/2	2,564	46.26	48	-	37	-
2004/2	1,543	-39.82	151	214.58	87	135.14
2005/2 予	2,300	49.06	180	19.21	100	14.94
2005/2 FISCO 予	2,300	49.06	180	19.21	100	14.94
2006/2 FISCO 予	3,100	34.78	250	38.89	150	50.00
2004/8 中	1,119	-	17	-	9	-
予想EPS/配当	単独 7,755.78円/ー円					

※予想EPSはFISCO試算

## 価格試算

	PER		PBR		時価総額
ダイセキ環境ソリューション<1712>	60.6倍	470,000円	9.71倍	470,000円	61億円
比較類似会社平均	18.7倍	135,726円	3.35倍	112,781円	210億円
FUJIKOH<2405>	15.9倍	123,317円	4.81倍	232,822円	21億円
エヌエス環境<4675>	14.1倍	109,356円	1.06倍	51,308円	28億円
栗田工業<6370>	18.6倍	144,257円	1.57倍	75,994円	1,862億円
ダイセキ<9793>	21.4倍	165,974円	1.88倍	90,999円	400億円

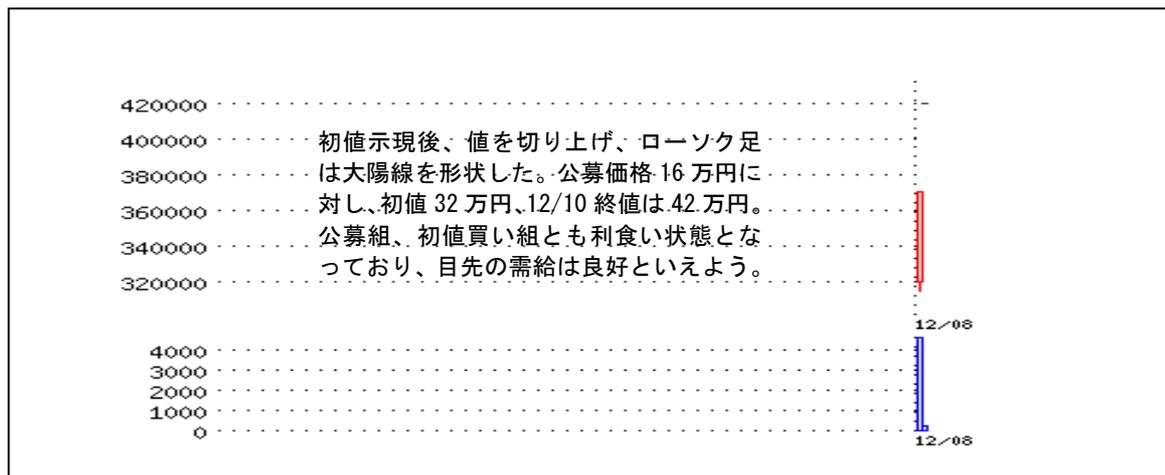
※類似企業と同等の数値(PER及びPBR)まで買われた場合の同社株価試算

FISCO 業種平均値と価格試算	PER		PBR	
リサイクル	38.3 倍	296,658 円	7.30 倍	351,411 円

※業種平均と同等の数値（PER及びPBR）まで買われた場合の同社株価試算

証券会社レーティング	発表日	レーティング	決算期	売上高 (百万円)	経常利益 (百万円)	純利益 (百万円)
なし	-	-	-	-	-	-

2004年12月13日現在



09年2月期		
	売上高	営業利益
楽観	6,300	1,066
普通	5,500	765
悲観	4,300	555

楽観シナリオ
59万円

普通シナリオ
35万円

悲観シナリオ
25万円

※5年後までのフリーキャッシュフローを予測してDCFで算出した理論株価

総合判断
<p>類似企業は親会社となるダイセキ&lt;9793&gt;を含めて産業廃棄物処理、環境調査、リサイクル関連銘柄など。類似企業のPERと比較した場合、株価には大幅な割安感が乏しいと考えられる。ただ、同社は土壤汚染対策法の施行でマーケットの急拡大が期待されることに加え、調査から処理までを一貫して手掛けていることによって、マーケット拡大のメリットを享受できるであろうことが期待される。この点、成長スピードも高いことが想定され、類似企業を大きく上回るPER評価は可能。また、ダイセキ&lt;9793&gt;は環境関連企業の中核的存在であり、その子会社として注目を集めやすい。投資家が楽観シナリオを主要な見方としやすい銘柄であると考えられる。依然として楽観シナリオによる理論株価まで上値余地があり、投資スタンスは「Buy」とした。上値メドは楽観シナリオによる理論株価59万円、下値メドは12月10日から11日までの窓埋め水準となる42万円としてある。</p>